

市内活動グループ訪問記

お楽しみ

南区に誕生した週5日の子ども食堂「ついでや食堂ラッキーズ」を訪問。食事と学習支援同時に提供する！



てらこや食堂ラッキーズ

7月29日(水) 小田急線相模大野駅から7分位にある2階建て一軒家の駐車場の扉に、「ついでや食堂ラッキーズ」といじかなり控えめな看板を見つけた。このメニューも子ども食堂を2019年11月7日(木)に始めた石井と子と子もみちみち等を子どもたちの様子を伺いながら、説明していただいた。

午後4時半〜の時間帯では無料塾で、大学生たちが宿題や勉強をみる。その間、ボランティアさん達が食事の用意。午後の時から子どもも食堂となり夕食が始まり、7時に子どもたちは帰宅。月曜日から金曜日までの週5日のスケジュール。

★子ども食堂を始めたきっかけは？

テラコニューズで6人に1人とか、7人に1人いるという子どもも貧困問題が目にとまり、若い先短くなった自分の人生の最後に何かいいことをしてみたい、とふと思ったんですね。それがきっかけです。

★何が子どもから始めたいのか？

場所や資金は気にしていません。



笑顔も素敵な石井とし子さん

空きの部屋はいいも「子ども食堂」というと即断されました。それで職

場(美容院)の道筋の道路沿いで駐車場もある一軒家の1階を借りるという運びになった。資金は小規模企業共済積立金を利用し、市社協の指導を受けながら、必要な食品衛生責任者証も取得しました。

★子ども食堂と同時に勉強もみる無料塾を併設するのはどうもニクナリ方ですね。

食事という困っているのは、おんりの塾にも通えないところから、学力格差を減らすのに役立つのではと思ったからです。

★食事づくりも勉強をみる協力者、いわゆるボランティアはなかなか集めにくいと言われないですか？

美容院を経営している関係で、相模大野駅周辺再開発副理事長をやり、完成した後はポーノ相模大野の出店会ポーノ会



子どもたちのために美味しい食事を!

会長を丸7年やりましたおかげで、繋がりのある方がたくさんできました。それで「居酒屋がくわん」の主人にはバイトの学生さんを紹介してもらいましたし、色々な方にお声かけをして参加してもらったことが多かった(1日身の美容院ART Hairのオーナー階にもお世話)。

★何が一番苦労された点は何ですか？

相模大野子ども支援実行委員会を立ち上げて、持ち前の行動力を生かして、フードバンクや農家さんからの野菜の提供を受けたり、寄付金も11万3千円くらい集まり、実現に向けて順調に動き出していたのですが、問題は肝心の困っている子どもを見つけてい

とでした。社協の担当の方や民生委員の方と一緒に学校を回りましたが、名指して推薦できないというわね、自分たちでチラシを配ったり口コミを利用したり、子育て支援グループの人たちにお願するなとして4人の子どもが集まりました。

★ライブシー保護がネックなのですね。今日は人が多くないと思えますが。

現在登録している子どもは10名、ボランティアさんは食堂担当12名、学習担当10名です。この事業を私一代で終わらせないで若い人たちに繋げるためにNPOの法人も取得しました。

★何かハードルはありますか？

勉強に改善が見られたり、英語に専従の人をつけたら成果が出ています。勉強の習慣が身についたからだと思いますね。「コロナで休んだら子どもたちが少いせいでよく見えまして。ここに来てようやく食事をするという体いいんだと感じました。一番人気のメニューはカレーです。



献立のメインはシチュー!

★石井さんは著作活動はありますか？

はい。運命の66歳として慶応義塾大学文学部を卒業し、立教大学大学院文学研究科修士課程で研究を続け71歳で修了後、研究テーマである『今昔物語』の小説化に挑み、2018年6月、挿絵も自分で描き密着書院から『大和の冒険—今昔物語集外伝』を出版しました。絵も好きなのでこの本をぜひ紙に届かせたい



みんなで食べると美味しいね!

ました。これ以前には『私のヘア』『チャリ犬フッキー』なども出しています。

石井さんは事業家としての行動力は半端ないし、年齢を感じさせないほどパワフルでマルチな活動をされている



には驚かされます。石井さんのお話にはぐんぐん引き込まれてしまいます。本当に魅力的な女性です。お忙しい中、取材御協力誠に有難うございました。また社協の鈴木さんにも大変お世話になりました。(山崎)

11月7日HOPEN!
てらこや食堂ラッキーズ

場 所：相模大野 5-15-27 (相模大野駅から徒歩7分)
開催日：月曜日から金曜日の週5日
(平日は毎日開催、土・日・祝日はお休みです)
時 間：午後4時半から7時(出入り自由、定率は各曜日から)
参加費：無料 (食事代もすべて無料です)
学校の後はラッキーズで楽しくすごしませんか。

「てらこや食堂ラッキーズ」はこんな感じで運営しています。
 ☆子どもたちの宿題や勉強のお手伝いをしたい。
 ☆保護者が仕事などで一人でお昼を食べている子どもたちを仲間にして、楽しい時間をすごしたい。
 ☆あなたがたいへんのお料理を、毎日食べてもらいたい。

◆お問い合わせ先：090-3220-8393 (石井)
◆主催：NPO相模大野子ども支援実行委員会
※学童や児童館での活動に申し込んでも構いません！

- ◆お問い合わせ先
090-3220-8393 (石井)
- ◆主催
NPO相模大野子ども支援実行委員会

石井さん手作りの大和の冒険の紙芝居